

2017年度
事業報告並びに活動決算書



特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

2017年度 特定非営利活動法人東ティモール医療友の会 (AFMET) 事業報告

1. 概要

2017年度は、味の素株式会社の旧「食と健康」国際協力プログラム(現在、公益財団法人味の素ファンデーション AIN プログラム「食と栄養支援事業」)による「栄養失調児の減少を目的とした母親対象の栄養と食に関する知識向上プログラムとその実践」の継続実施を中心に活動を行った。

また、2015年度に JOMAS(海外邦人宣教者活動援助後援会)から助成を受けた事業、女性の自立、栄養源の確保と収入創出を目的とした現地製品ココナッツオイル生産支援プログラムで立ち上げられた現地女性グループを継続支援した。

国内では、2018年1月に臨時総会を開催。事務局を東京から神奈川県に移転するほか、事業内容を見直し、東ティモールについて日本の人々に積極的に紹介し、東ティモールと日本をつなげる活動を事業の中心に据え展開していくこととした。

2018年3月これまで7年にわたって現地で活動してきた深堀夢衣さんが帰国。AIN プログラムも終了した。

2. 事業報告

2017年度は、引き続き公益財団法人味の素ファンデーション AIN プログラム「食と栄養支援事業」の助成を受け、ラウテン県イリオマール準郡5村1, 561世帯¹を対象とし、地域の母親に栄養失調児減少を目的とした栄養と食に関する知識向上プログラムを実施した。また、JOMAS(海外邦人宣教者活動援助後援会)からの助成を受け組織した、バージンココナッツオイル生産を行う現地女性グループ Koko moris²を継続して支援した。

JICA(独立行政法人国際協力機構)事業中に組織した、協働組合である FINI³は、AFMET から独立し、東ティモール政府への組織登録を完了したため、補助的な支援を継続して行った。

I プライマリ・ヘルスケアの普及促進事業

1. 5歳未満の子どもの身体測定、栄養セミナー、調理セミナー

SISCa(母子健診療サービス)が実施されていない集落、村の診療所から遠い集落をイリオマール準郡 CHC⁴栄養プログラム担当者、PSF⁵(政府保健ボランティア)、看護師/助産師と共に訪問し、5歳未満の子どもの身長・体重・上腕の測定を行った。去年実施した集落へはフォローアップとして再度訪問し、子どもの発育状態を確認した。

身体測定だけではなく、参加者に向けて栄養セミナー・調理セミナーを実施し、母子手帳の重要性、栄養失調の原因、栄養失調が身体に与える影響などを、教本を使用して指導した。

また、栄養のある食事について母親に理解してもらう目的で、モリングなど地元で簡単に手に入る食材を使用した食事作りを指導し、メニューを配布。家庭でも栄養のある食事を作れるよう工夫した。

¹ イリオマール I 村 397 世帯、イリオマール II 村 351 世帯、アイレベレ村 264 世帯、カエンリウ村 340 世帯、フアト村 209 世帯。

² Koko moris テトゥン語で生活を試すという意味。

³ FINI:Fuan Ida Neon Ida テトゥン語で一心同体の意。2008 年に AFMET によって組織された協同組合。天然素材を使って生産した石鹸・薬草の販売、ココナッツオイルの販売を行っている。

⁴ Community Health Center

⁵ 政府保健省によって組織されている保健ボランティア。各村に 5 人ずつ配置されている。英訳は、Family Health Promotor。

実施日:8月7～25日、9月8～18日、10月4～25日、12月11～22日(計 35回)

実施場所:6村15箇所

実施関係者:イリオマール準郡 CHC 栄養プログラム担当者 1名、看護師 1名、助産師 1名、PSF5名、
AFMET スタッフ 3名

参加者:5歳未満の子ども、母親ほか

プライマリ・ヘルスケアの普及促進事業 身体測定・栄養セミナー・調理セミナー 詳細

回数	集落名 (村名)	参加者		セミナー内容	実施日
		5歳未満の子ども	一般		
第1回	ヘイタリ (アイレベレ)	9名	14名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月7日
第2回	カイダブ (イリオマールII)	13名	17名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月8日
第3回	ベトゥマウコロン (イリオマールII)	10名	18名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月8日
第4回	バイタウ (イリオマールI)	9名	16名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月10日
第5回	ボイキラ (イリオマールI)	7名	12名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月15日
第6回	マアラファル (アイレベレ)	12名	17名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月17日
第7回	ワタオマール (フアト)	11名	12名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月22日
第8回	ラリミ (カエンリウ)	16名	22名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	8月23日
第9回	タタララリン (ティリロロ)	4名	6名	・身体測定 ・母子手帳の重要性	8月24日
第10回	エテワタ (ティリロロ)	12名	15名	・身体測定 ・母子手帳の重要性	8月25日
第11回	リヒナ (イリオマールI)	10名	13名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	9月8日
第12回	ティリロロ (ティリロロ)	33名	27名	・身体測定 ・母子手帳の重要性	9月13日
第13回	リウファルノ (カエンリウ)	5名	6名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	9月15日
第14回	ブブタウ (フアト)	20名	24名	・身体測定 ・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	9月18日
第15回	ラリミ (カエンリウ)	8名	23名	・栄養失調の身体への影響 ・B型肝炎予防接種	10月4日

第 16 回	タタラリン (ティリロ)	5 名	8 名	・栄養失調の原因	10 月 5 日
第 17 回	オソヒラ (イリオマール I)	6 名	13 名	・栄養素について	10 月 6 日
第 18 回	リヒナ (イリオマール II)	23 名	23 名	・栄養素について	10 月 9 日
第 19 回	カイダブ (イリオマール II)	3 名	10 名	・栄養素について	10 月 10 日
第 20 回	ベトウマウコロ (イリオマール II)	6 名	8 名	・栄養素について	10 月 12 日
第 21 回	ボイキラ (イリオマール I)	11 名	9 名	・栄養素について	10 月 16 日
第 22 回	ヘイタリ (アイレベレ)	9 名	8 名	・栄養素について	10 月 17 日
第 23 回	ブブタウ (フアト)	15 名	14 名	・栄養素につて	10 月 18 日
第 24 回	ワタオマール (フアト)	9 名	10 名	・栄養素について	10 月 19 日
第 25 回	バイタウ (イリオマール I)	4 名	14 名	・栄養素について	10 月 23 日
第 26 回	エテワタ (ティリロ)	5 名	5 名	・栄養失調について	10 月 25 日
第 27 回	ヘイタリ (アイレベレ)	6 名	10 名	・発育曲線の見方	12 月 11 日
第 28 回	カイダブ (イリオマール II)	10 名	16 名	・発育曲線の見方	12 月 12 日
第 29 回	ベトウマウコロ (イリオマール II)	10 名	14 名	・発育曲線の見方 ・マラリア予防	12 月 13 日
第 30 回	ワタオマール (フアト)	6 名	10 名	・発育曲線の見方	12 月 14 日
第 31 回	バイタウ (イリオマール I)	8 名	14 名	・発育曲線の見方 ・マラリア予防	12 月 18 日
第 32 回	ボイキラ (イリオマール I)	17 名	27 名	・発育曲線の見方	12 月 19 日
第 33 回	タタラリン (ティリロ)	8 名	23 名	・栄養素について ・身体測定 ・調理セミナー	12 月 20 日
第 34 回	エテワタ (ティリロ)	10 名	9 名	・栄養素について ・身体測定 ・調理セミナー	12 月 21 日
第 35 回	ラリミ (カエンリウ)	10 名	30 名	・母乳育児の重要性	12 月 22 日

2. 母親大会の実施

5歳未満の子どもの身体測定、栄養セミナー、調理セミナーと関連し、子どもの発育状態と AFMET プログラムへの参加率で母親を選出。2歳～5歳児を対象とした食事を作ってもらい、集落レベル、村レベルで母親大会を実施した。調理の前に持参した食材の栄養素、調理方法について発表した。村議会、AFMET スタッフ、CHC、AIN 視察団が評価シート(衛生面、栄養知識面、食材面など各項目に分かれている)を用いて採点。得点の高かったチームが1位となった。

集落レベル大会

実施日:2018年1月30日

場所:ティリロロ村

参加者:味の素ファンデーション2名、ティリロロ村村長、イリオマール CHC 長代理(医者)、集落長3名、PSF5名、大会参加の母親6名(ティリロロ村の各集落から 2 名ずつ参加)、一般住民約90名、AFMET スタッフ6名

村レベル大会

実施日:2018年2月22日

場所:アイレベレ村

参加者:CHC スタッフ&医療従事者5名、PSF8名、母親12名(イリオマール郡各村から 2 名ずつ参加)、村議会スタッフ4名、AFMET スタッフ3名、一般住民約120名

成果

- ・これまでの SISCa では体重と上腕の測定のみであったが、身長測定も実施し、PSF や母親たちが身長測定にも慣れた。身長測定を行っているのは、AFMET が東ティモール国内唯一であった。
- ・改訂された母子手帳は男女別の身長体重比、年齢体重比、身長体重比を記載しなければならない。他の県より早く PSF にトレーニングを実施し、実践したため、PSF たちが身長測定を行い、それをグラフに記載することができるようになった。
- ・他県ではまだ実践されていない身長測定をイリオマール準郡でいち早く現地に根付かせることができた。
- ・セミナー実施の際は教材やポスターを使用し、母親たちが理解しやすいよう工夫することができた。
- ・普段交流の少ない母親たちが集まり、情報交換の場を設けることができた。
- ・これまでのセミナーで学んだ知識を発表する母親大会では、多くの母親が3群(たんぱく質、炭水化物、ビタミン)の食品を食事に採り入れていた。

課題

- ・新しいことを学びたいという住民が減ってきているように思う。情報提供する場をつくっても住民の参加がなかなか得られない。独立して15年が経ち、住民の生活や経済状況が変わっていることが原因と考えられる。セミナー内容を保健局のスタッフを交えて検討する必要がある。
- ・母親大会では、3 群の食品を食事に採り入れる母親は多くいたが、食材が身体にどう影響するかについては更なる指導が必要だと考える。ビタミンについて理解している母親は多いが(妊娠した際にビタミンが身体によいと指導され、ビタミン剤を配布されるため)、たんぱく質と炭水化物についての理解が低かった。



PSF や母親も身長測定に慣れた



母親大会 食材の栄養素について発表する母親

II 健康に関する住民へのサービス及び知識・情報提供事業

1. 重度栄養失調児の子ども家庭訪問(母親個別相談)

重度栄養失調児とみられる子どもを抱えるお宅へ家庭訪問を行い、その母親に対し、個別に指導を行った。子どもの発育曲線の見方について直接的に指導し、栄養のある食事を提供するように促した。

実施日:2017年9月、11月(計23世帯)

方法:フリップチャート、子どもの発育曲線を使用して指導

場所:6村10集落

参加者:CHC 栄養プログラム担当者1名、AFMET スタッフ3名、栄養失調児25名とその母親

2. 家庭菜園セミナー

5歳未満児がいる水場に近しい家へ赴き、栄養価の高い食材を確保する目的で、野菜の種を配布すると共に、家庭菜園の作り方、苗/種の植え方、オーガニック肥料の作り方を指導した。

また、イリオマール準郡で大豆を使った食品を生産したいと相談したところ、アイレベレ村村長が農民グループ Meti-asa を紹介して下さった。Meti-asa は11名のメンバー(詳細は下記)でグループを形成し、自分たちで地を耕し、稲や野菜を育てて村で販売している。今年度からこのグループと協同し、大豆食品生産に向けて始動することになった。

大豆を首都ディリで購入し育てたがうまくいかず、日本で大豆の種を購入し、育てた。しかし、収穫した種を植えても3回目には育たなくなってしまった。その後、何度かディリで大豆を購入し植えたものの、育つことはなく、大豆食品生産は難しくなった。Meti-asa が養殖地をつくっていたことから、稚魚の養殖へと方法を変え、現在は220匹の稚魚を育てている。

実施日:8月、9月、10月、11月(計110世帯)

方法:野菜の種の配布、稚魚の配布、実地トレーニング

実施関係者:AFMET スタッフ 3 名

参加者:5歳未満児の家庭、農民グループ Meti-asa メンバー11(女4、男7)名、アイレベレ村村長1名

配布した野菜の種:ナス、青菜、ニンジン、トマト、シソ科の野菜(バヤム)、空心菜、インゲン豆



母親個別相談の様子



Meti-asa の養殖地と畑の様子

成果

- ・ 栄養失調児のいる家庭を訪問し、母親の不安に思っていることなどに直接的に答えることができた。
- ・ 子どもの発育曲線のグラフを見せ、子どもの健康状態がどうなっているか指導することができた。
- ・ 家庭菜園セミナーに参加した家庭では7種類の野菜が収穫でき、子どもの健康状態も良くなったというコメントがあった。
- ・ 家庭菜園セミナーに参加した住民が、家庭菜園の準備の仕方、オーガニック肥料の作り方について理解した。
- ・ 家庭菜園セミナーに参加した住民が、収穫した野菜を食材として調理に使用するだけでなく、種を取ってさらに植え替えるなどの工夫がみられるようになった。多く取れた野菜は隣家へも配布し、近隣住民からも喜ばれたとコメントがあった。
- ・ 農民グループ Meti-asa と協同し、稚魚の養殖を開始することができた。今後、イリオマール準郡で魚が販売されるようになることが期待される。

課題

- ・ 家庭訪問で母親に直接的に栄養について指導した際、「栄養のある食事を提供しなければいけないことは理解しているが、その経済力がない」との反応が多かった。家庭菜園セミナーに参加する旨伝えしたが、野菜を育てることは疲れるのでしたくないと回答する家も多かった。
- ・ 苦労を伴う栄養のある食事よりも、楽にお腹がいっぱいになる食事の方が魅力的な家庭も多くある。
- ・ 家庭菜園セミナーで配布した野菜の何種類かは1度種を植えて収穫後、種を再度植えないといけない野菜も選択していたため、今後は収穫後も種を得られる野菜のみ選択したい。
- ・ 大豆がうまく育たなかった。稚魚の育成へとシフトすることができたが、大豆食品製造はあきらめなければならなかった。

Ⅲ プライマリ・ヘルスケアを目的としたコミュニティ事業

1. 現地生産ココナッツオイル製品支援プログラム

2015年度に組織した女性グループは、主に農業局からの支援を受け、継続的にバージンココナッツオイルとココナッツオイルを使った傷薬(軟膏)の製造・販売を行っている。AFMETは、継続してモニタリングを行い、フォローアップを実施している。

成果

- ・グループメンバーが継続してバージンココナッツオイルを販売し、収入となっている。
- ・オイルを使用した新しい製品も継続して販売しており、売上も好調である。

課題

- ・バージンココナッツオイルを継続的に購入する顧客を見つける。
- ・掛売でオイルを購入する企業や団体が多く、売掛金の回収が難しい。
- ・メンバー一人ひとりが籠やバケツにオイルを入れて販売に行くため、一度に大量に運搬することが困難である。

2. FINI 活動支援

2012年度に AFMET から独立し、政府登録を完了させた FINI は、商業産業環境省からの支援を受け、現在も意欲的に活動を継続している。AFMET は、現地代表が FINI 開催の会議に参加するなど、彼らのアドバイザー的存在として協力関係を継続している。

2017年度 AFMET がFINIとともに実施した会議数:5回

2017年度顧客数:24店舗(NGO、キオスク、ホテル、スーパーマーケット含む)

成果

- ・活動するメンバーの数は減ってしまったものの、首都ディリ、ロスパロスで意欲的に宣伝活動を行っており、顧客の数が少しずつ増えてきた。
- ・商業産業環境省から液体石鹼の製造を依頼された。現在試作を製造中である。

課題

- ・メンバー同士の仲たがいが原因で今年は各種イベントへの参加が難しかった。AFMET も介入し、メンバー同士の関係性修復を行いたい。
- ・販売場所の賃料等に年間500米ドルの経費を要している。FINI 自らの土地はあるが、家を建てる必要があり、その経費が必要。

IV 地域医療行政との連携・協力事業

今年度も、保健、開発行政、他の NGO との連携のため各種会合に参加した。

- ・他機関主催ワーキンググループ、ワークショップ、イベント、会議への参加 6回
- ・主な連携機関 保健省(栄養課)、農業省(国産物農業広報課)、司法省(市民登録課)、商業環境産業省(住民グループ支援課)、県保健局(公衆衛生課、栄養課、母子保健課)、県農業局(国産物農業広報課)、イリオマール準郡 CHC、NGO フォーラム(FONGTIL)、県庁、JICA(国際協力機構)、NGO(ワールドビジョンジャパン、Child Fund、PARCIC、SHARE、ピースウィンズジャパン、地球のステージ、TID)

成果

- ・他機関との連携を深め、情報交換を行うことが出来た。
- ・NGO 同士の情報交換が頻回に行われるようになり、連携が深まった。

課題

・今後も視野を広げて多くの機関と協働していきたい。

V 人材の育成・研修事業

1. 他団体(NGO)との協働

AFMET の活動の充実に向け、他 NGO と積極的に協働した。

(1) 視察等の受け入れ

- 栄光学園 教諭2名、学生3名 視察、FINI での石鹸づくり体験
2017年8月30日
- 東ティモール図書館活動基金 中口尚子さん、イエズス会経営図書館支援者 太田睦さん
2017年10月11日
- 味の素ファンデーション AIN プログラム事業視察
2018年1月27日～2月1日

(2) AFMET と協働している主な NGO、国際機関

NGO フォーラム(FONGTIL)、Child Fund(東ティモール)、日本カトリック海外宣教師を支援する会(日本)、ピースウィンズジャパン(日本)、ワールドビジョンジャパン(日本)

・国際機関

UNICEF

・その他

ドンボスコフィロロ(東ティモール・サレジオ会)

ドンボスコケリカイ(東ティモール・サレジオ会)

イエズス会(東ティモール)

聖母訪問会メハラ修道院(日本)

(3) 政府関係機関

政府保健省(MoH)

政府農業省(MoA)

政府商業産業環境省(MCI)

政府司法省(MJ)

ラウテン県県庁(Administrasaun)

ラウテン県保健局(DHS)

ラウテン県農業局(MAP)

日本大使館

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

VI 広報・啓発事業

1. ニュースレター発行

「東ティモール医療友の会(AFMET)ニュースレター」を発行。2017年度は1回発行。

号数	発行日	内容
第39号	2017年9月14日発行	キリンサイと出会って キリンサイ事業のレポート 味の素プロジェクト-3年目に向けて コラム:大豆について

2. イベント

(1) 東ティモールフェスタ2017(参加)

上智大学にて行われた東ティモールフェスタ2017に参画した。小林理事長がフェスタ実行委員会に出席し、当日はブース出展した。

日時:2017年5月20日(土)10時~19時

会場:上智大学四谷キャンパス9号館地下カフェテリア

3. ホームページ

ホームページを随時更新し公開した。

VII 会の運営

1. 会員

2018年3月31日現在 計 88(個人・団体)

(内訳)

正会員 個人: 41名 団体: 3団体 計 44(個人・団体)

賛助会員 個人: 41名 団体: 3団体 計 44(個人・団体)

2. 会議

(1) 2017年度定例総会

2017年5月28日(日) カトリック厚木教会 会議室

議長の選任

辞任した役員の後任選任について

2016年度事業報告並びに収支決算について

2017年度事業計画及び収支予算について

(2) 2017年度臨時総会

2018年1月20日(土) カトリック雪ノ下教会 2階大会議室

議長の選任

定款の変更について

2018年度及び2019年度事業計画及び収支予算について

法第2条及び第12条の規定に関する事項

(3) 理事会

理事会を次のとおり全10回開催した。

回数	開催日	会場	主な議題等
第84回	2017年4月26日	カトリック雪ノ下教会	AFMET の今後について他
第85回	2017年5月15日	カトリック雪ノ下教会	総会について他
第86回	2017年6月19日	カトリック雪ノ下教会	ニューズレターについて他
第87回	2017年7月18日	カトリック雪ノ下教会	AFMET の今後について他
第88回	2017年9月14日	カトリック雪ノ下教会	AFMET の今後について他
第89回	2017年10月23日	カトリック雪ノ下教会	AFMET の今後について他
第90回	2017年11月21日	カトリック雪ノ下教会	AFMET の今後について他
第91回	2017年12月19日	カトリック雪ノ下教会	東ティモールフェスタについて他
第92回	2018年1月15日	カトリック雪ノ下教会	臨時総会について他
第93回	2018年2月15日	カトリック雪ノ下教会	味の素事業の評価について他

■ X 現地活動支援

現地活動を効果的に実施するため、日本から随時現地活動支援員を次のとおり派遣した。

期間	支援員	内容
2018年 1月24日～2月1日	金山重之	味の素ファンデーションの視察同行及び活動調整を行った。
2018年 2月28日～3月6日	山口道孝	味の素ファンデーション事業の評価及び活動調整を行った。

■ XI 現地派遣者の派遣

氏名	派遣期間
深堀 夢衣	2017年4月1日～2018年3月31日（2018年4月3日帰国）

■ XII 現地ローカルスタッフ

2017年3月事業終了時の現地ローカルスタッフは次のとおり。

	氏名	役職
1	Juvencio Soares	現地代表、プロジェクトマネージャー
2	Jose Freitas	フィールドスタッフ
3	Sebastiao A. Ximenes	フィールドスタッフ
4	Adelino Ribeiro	運転手

■ XIII 役員

2017年3月末現在の役員は次のとおり。

	役名	氏名	報酬の有無	備考
1	理事長	小林 裕	無	
2	副理事長	山口 道孝	無	
3	理事	米田 ミチル	無	
4	理事	漆原 比呂志	無	
5	理事	渡邊 怜子	無	
6	理事	金山 重之	無	
7	監事	太田 康雄	無	

3. 用語集

AFMET	Alliance of Friends for Medical-care in East Timor
BESIK	BE'e Saneamentu no Ijiene iha Komunidade (Water, Sanitation and Hygiene in Community)の略。AusAID が東ティモールにおいて実施している衛生プログラムの名前。))
CDE	Centru Dezenvolvimento Emperezario の略。政府開発省に属するビジネストレーニングセンター。
CG	Cooperative Group の略。協同組合。
CGRC	Cooperative Group Representative Committee の略。石鹼を製造している 18 グループの代表者からなる協同組合代表者会議。
CHW	Community Health Worker の略。
CLTS	Community Led Total Sanitation の略。住民主導の全村的衛生プログラム。
CSB	Corn Soya Blend の略。トウモロコシと大豆の粉末を混ぜ合わせた栄養サプリメント。
CVTL	Cruz Vermelha de Timor-Leste の略。東ティモールで活動するオーストラリア赤十字。
DHS	District Health Service の略。県保健局。
DLO	District Liaison Officer の略。NGO フォーラムから各県に配属されている NGO の調整要員。
DOTS	Direct Observed Treatment Short-course の略。直接監視下短期化学療法。
Emperezario	東ティモールローカル NGO。
FGD	Foucus Group Discussion の略。
FINI	Fuan Ida Neon Ida の略。上記の協同組合代表者会議(CGRC)が改名し、このグループ名で活動している。
FONGTL	Forum Organizasaun Non Governmental Timor Leste の略。東ティモール NGO フォーラム。
Fraterna	東ティモールローカル NGO。CLTS を促進。衛生的なかまど普及事業を協同で実施。
GMF	Group Management Facilitator の略。村の衛生管理チーム。特に水利設備のメンテナンスなどを行う。
HIVOS	Humanistisch Instituut Voor Ontwikkelingssamenwerking (Humanist Institute for Cooperation in full)の略。オランダの NGO。
Icatutuno	東ティモールローカル NGO。Child Fund からローカル化した NGO。
Immanuel clinic	東ティモールで活動するインターナショナル NGO。2013 年度撤退。
KJPS	Komisaun Jestasaun Programa Suco の略。Village Program Management Committee。村のプログラムマネジメントチーム。
KUBASA	Kategorizasaun Uma BAzeia ba Saude Ambiente の略。家庭の衛生環境をカテゴリー分けする全家庭の環境衛生調査。
Marie Stopes International	東ティモールで活動するインターナショナル NGO。
MDM-P	Medicos Do Mundo-Portugal の略。ポルトガルの NGO。2013 年度ラウテン県から撤退。
Meja	テトゥン語で“机”の意。ポスト SISCa ではセクションとして機能。

PAKSI	Plano Aksaun Komunitade Saneamento no Igene の略。衛生環境改善のための住民による活動計画。政府保健省が推進しているプログラム。
PARCIC	東ティモールで活動する日本の NGO。
Plan	東ティモールで活動する国際 NGO。
PSF	Promotor Saude Familia (Family Health Promoter)の略。東ティモール政府保健省に認定されている保健ボランティア。
RWSSP	Rural Water Supply and Sanitation Program の略。AusAID の支援によって東ティモールにおいて衛生プログラムを実施しているグループ。
SAS	Servisu Agua i Saneamentu の略。インフラ省水道局。
SHARE	東ティモールで活動する日本の NGO。
SISCa	Servisu Integrado Saude Comunitaria (Integrated Community Health Service)の略。農村部において月に 1 度村に医療チームを派遣し、住民に保健サービスを提供する東ティモール政府保健省のプログラム。
TB	Tuberculosis。結核
TIMORI	ラウテン県に存在するココナッツオイル製造会社。
VIVASIOUS	ラウテン県に存在する建設会社。

監査意見書

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会定款第15条第4項の規定に基づき、2017年度における事業の執行状況並びに財務の状況について、当該年度の理事会議事録、活動報告書及び活動計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていると認められた。

2018年 5月18日

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

監事

太田

2017年度 活動計算書

2017年4月1日 から 2018年3月31日 まで

特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

(単位:円)

科目名	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	200,000	
賛助会員受取会費	179,000	379,000
2 受取寄付金	973,293	973,293
3 受取助成金等	2,679,650	2,679,650
4 その他収益		
受取利息	13	
雑収益	0	13
経常収益計		4,031,956
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	2,066,007	
人件費計	2,066,007	
(2) その他経費		
会場費	0	
諸謝金	0	
旅費交通費	1,793,438	
通信運搬費	96,804	
会議費	54,177	
消耗品費	362,948	
印刷製本費	163,358	
賃借料	905,702	
保守整備費	695,158	
水道光熱費	27,598	
燃料費	360,004	
支払手数料		
その他経費計	4,459,187	
事業費計		6,525,194
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
旅費交通費	1,724	
通信運搬費	17,988	
会議費	5,530	
支払手数料	84,326	
消耗品費	0	
減価償却費	693,208	
諸会費	33,398	
租税公課	0	
雑費		
その他経費計	836,174	
管理費計		836,174
経常費用計		7,361,368
当期経常増減額		△ 3,329,412
当期正味財産増減額		△ 3,329,412
前期繰越正味財産額		4,099,526
次期繰越正味財産額		770,114

2017年度 貸借対照表

2018年3月31日現在

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	666,872		
流動資産合計		666,872	
2 固定資産			
車輛運搬具	103,241		
什器備品	1		
固定資産合計		103,242	
資産合計			770,114
II 負債の部			
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,099,526	
当期正味財産増減額		△ 3,329,412	
正味財産合計			770,114
負債及び正味財産合計			770,114

2017年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
固定資産は、定額法で償却をしています。

2. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	PHC普及啓発事業	健康情報提供事業	PHCコミュニティ作り事業	医療行政協力事業	人材育成	広報啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費							0	379,000	379,000
2. 受取寄付金	700,000	150,000	80,000	43,293			973,293		973,293
3. 受取助成金等	2,679,650						2,679,650		2,679,650
5. その他収益							0	13	13
経常収益計	3,379,650	150,000	80,000	43,293	0	0	3,652,943	379,013	4,031,956
II 経常費用									0
(1) 人件費									0
給料手当	2,066,007						2,066,007		2,066,007
人件費計	2,066,007	0	0	0	0	0	2,066,007	0	2,066,007
(2) その他経費									
旅費交通費	1,304,622	405,191	23,311	45,837	14,477		1,793,438	1,724	1,795,162
通信運搬費	69,974	7,886	3,340			15,604	96,804	17,988	114,792
会議費	43,087	7,769		3,321			54,177	5,530	59,707
会場費							0		0
諸謝金							0		0
消耗品費	301,554	57,121	3,228	1,045			362,948		362,948
印刷製本費	2,302	13,905	86,993	28,663		31,495	163,358		163,358
賃借料	894,290					11,412	905,702		905,702
保守整備費	695,158						695,158		695,158
水道光熱費	27,598						27,598		27,598
燃料費	193,702	59,151	3,340	103,811			360,004		360,004
業務委託費							0		0
医薬品購入費							0		0
減価償却費							0	693,208	693,208
支払手数料							0	84,326	84,326
諸会費							0	33,398	33,398
租税公課							0		0
雑費							0		0
その他経費計	3,532,287	551,023	120,212	182,677	14,477	58,511	4,459,187	836,174	5,295,361
経常費用計	5,598,294	551,023	120,212	182,677	14,477	58,511	6,525,194	836,174	7,361,368
当期経常増減額	△ 2,218,644	△ 401,023	△ 40,212	△ 139,384	△ 14,477	△ 58,511	△ 2,872,251	△ 457,161	△ 3,329,412

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳
施設の提供等の物的サービスの受入れはありません。
4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳
5. 使途等が制約された寄付・助成金等の内訳
使途等が制約された寄付・助成金等の内訳は以下の通りです。
当法人の正味財産は770,114円ですが、使途が制約されている正味財産はありません。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
PHC普及啓発事業	0	2,679,650	2,679,650	0	味の素ファンデーション AIN プログラム「食と栄養支援事 業」の助成金(2,679,650円) により事業を実施。
健康情報提供事業	0			0	
PHCコミュニティ作り事業	0			0	
医療行政協力事業	0			0	
合計	0	2,679,650	2,679,650	0	

6. 固定資産の増減内訳
固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首帳簿価額	取得	減少	期末取得価額	当期減価償却額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬費	796,449	0	0	796,449	△ 693,208	103,241
什器備品	1	0	0	1	0	1
合計	796,450	0	0	796,450	△ 693,208	103,242

7. 借入金の増減内訳
借入金はありません。
8. 役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引はありません。
9. その他
支出における月々の外貨換算レートについては、JICA統制レートを使用しています。

2017年度 財産目録

2018年3月31日現在

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金		
手元現金	2,166	
現地現金	21,591	
預金		
三菱東京UFJ銀行		
六本木支店 普通	161,174	
六本木支店 定期	10,032	
郵便振替口座	68,415	
現地普通預金		
ANZ銀行DILI支店	89	
MANDIRI銀行	403,405	
流動資産合計		666,872
2 固定資産		
有形固定資産		
車輛運搬具		
トヨタハイックス 1台	61,696	
トヨタハイックス 1台 (東ティモールにて登録使用)	41,545	
什器備品		
パソコン1台	1	
固定資産合計		103,242
資産合計		770,114
II 負債の部		
負債合計		0
正味財産		770,114

2017年度 活動計算書(前年対比)

2017年4月1日 から 2018年3月31日 まで

特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	差異
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	200,000	145,000	55,000
賛助会員受取会費	179,000	91,000	88,000
2 受取寄付金	973,293	788,753	184,540
3 受取助成金等	2,679,650	2,820,350	△ 140,700
4 その他収益			
受取利息	13	504	△ 491
雑収益	0	26,162	△ 26,162
経常収益計	4,031,956	3,871,769	160,187
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	2,066,007	1,857,347	208,660
人件費計	2,066,007	1,857,347	208,660
(2) その他経費			
会場費	0	61,997	△ 61,997
諸謝金	0	5,209	△ 5,209
旅費交通費	1,793,438	1,694,616	98,822
通信運搬費	96,804	57,759	39,045
会議費	54,177	240,635	△ 186,458
消耗品費	362,948	595,740	△ 232,792
印刷製本費	163,358	85,473	77,885
賃借料	905,702	623,238	282,464
保守整備費	695,158	386,340	308,818
水道光熱費	27,598	12,993	14,605
燃料費	360,004	235,715	124,289
支払手数料	0	11,160	△ 11,160
その他経費計	4,459,187	4,010,875	448,312
事業費計	6,525,194	5,868,222	656,972
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0	0	
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
旅費交通費	1,724	0	1,724
通信運搬費	17,988	35,637	△ 17,649
会議費	5,530	0	5,530
賃借料	0	33,329	△ 33,329
支払手数料	84,326	42,352	41,974
消耗品費	0	5,301	△ 5,301
減価償却費	693,208	700,606	△ 7,398
諸会費	33,398	33,329	69
租税公課	0	13,750	△ 13,750
雑費	0	18,087	△ 18,087
その他経費計	836,174	882,391	△ 46,217
管理費計	836,174	882,391	△ 46,217
経常費用計	7,361,368	6,750,613	610,755
当期経常増減額	△ 3,329,412	△ 2,878,844	△ 450,568
当期正味財産増減額	△ 3,329,412	△ 2,878,844	△ 450,568
前期繰越正味財産額	4,099,526	6,978,370	△ 2,878,844
次期繰越正味財産額	770,114	4,099,526	△ 3,329,412

監査意見書

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会定款第15条第4項の規定に基づき、2017年度における事業の執行状況並びに財務の状況について、当該年度の理事会議事録、活動報告書及び活動計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていると認められた。

2018年 5月18日

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

監事

太田